

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済個所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。 事業債活用のため、市道修繕調査を実施し、修繕計画を策定する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	国の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済個所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。 事業債活用のため、市道修繕調査を実施する。
②①に基づく取組み結果	社会資本整備総合交付金を活用し、用地取得、簡易舗装による保全工事、市道修繕調査を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	主要市道の用地を取得し、簡易舗装による保全工事を実施した。 市道14号線歩道整備工事(L=14m)、市道20号線構造物等撤去工事、市道22号線用地取得(A=98㎡)						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	583	243	14	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度からの累計】	7,999	8,242	8,256	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	65.7	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	108,182	80,609	金額(千円)	内容		338,466	
国支出金(千円)	46,604	34,656	39,655	物件補償費		154,576	
県支出金(千円)	0	0	14,265	工事請負費		0	
市債その他(千円)	41,900	33,400	9,429	用地購入費		156,800	
一般財源(千円)	19,678	12,553	6,282	物件調査費		27,090	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	歩道整備工事、市道22号線、物件補償、用地取得	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	歩道整備工事、市道22号線、物件補償、用地取得	141,510	317,350	当初	192,825	80,609	R1からの繰越	22,028
				R1⇒R2繰越	22,193			
③達成状況	未完了			補正	102,200		現年分	58,581
④未完了・非着手の理由	用地取得に係る業務が年度内に完了しなかったため。			流用・充当	132			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)				157,787

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交差点改良事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。
②①に基づく取組み結果	市道22号線交差点改良事業に伴う用地購入等を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道の交差点	意図(対象をどうするのか)	交差点の改良による安全性の向上・交通渋滞の緩和
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	視界が悪く、歩行者が横断待ちするためのスペースの無い危険な交差点や、自動車交通量の増加に伴い、渋滞が発生している交差点がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市道22号線交差点改良事業に伴う用地購入等(A=303㎡)を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	工事实施箇所(累計)	5	7	7	業務取得
	ii	「道路の状況」不満足度	65.7	—	—	市民意識調査
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	41,488	17,895	金額(千円)	内容	85,905	
国支出金(千円)	14,082	8,703	7,973	用地購入費	45,004	
県支出金(千円)	0	0	5,529	物件調査費	0	
市債その他(千円)	10,300	6,300	2,326	物件補償費	33,100	
一般財源(千円)	17,106	2,892			7,801	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	幅員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	交差点改良の要望が多く、市民の安全のため早期に交差点改良を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	交差点改良工事、物件調査委託	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	物件調査委託	61,882	74,312	当初	64,013	R1からの繰越	10,299	
				R1⇒R2繰越	10,299			
③達成状況	未完了	61,882	74,312	補正	0	17,895	現年分	7,596
④未完了・非着手の理由	用地取得に係る業務が年度内に完了しなかったため。			流用・充当	0			
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				30,394		

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。
②①に基づく取組み結果	市道3315号線の冠水対策のため排水整備工事を発注した。市道2107号線の用地測量を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図(対象をどうするのか)	安全でゆとりのある道路に整備する。
②事務事業の概要	道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活道路となる一般道路が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があります。住民の生活環境が向上するよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市道3315号線、市道3691号線排水整備工事を実施した。 市道2107号線用地測量委託						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i 工事延長		-	189	99	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】		3,371	3,560	3659	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度		65.7	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	30,434	16,655	金額(千円)	内容		46,247	
国支出金(千円)	0	1,565	2,534	市道2107号線用地測量委託		4,313	
県支出金(千円)	0	0	8,927	市道3315号線排水整備工事		0	
市債その他(千円)	15,600	12,100	3,300	市道3812号線道路整備工事		34,200	
一般財源(千円)	14,834	2,990	1,298	市道3691号線排水整備工事		7,734	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げするため、一般市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	排水整備、道路改良、用地測量	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	排水整備、用地測量	33,582	38,096	当初	33,582	R1からの繰越	3,831
				R1⇒R2繰越	4,015		
③達成状況	未完了	33,582	38,096	補正	0	現年分	12,824
④未完了・非着手の理由	市道3812号線道路改良工事をR3年度に繰越したため			流用・充当	499		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				10,707	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	申請のあった私道整備工事を早期に発注し利用者の利便性を向上させる。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	申請のあった際には早期に私道整備工事を発注しすることが出来るよう、利用者と調整を行う。
②①に基づく取り組み結果	早期に発注し利用者の利便性を向上させた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか)	舗装整備工事、舗装修繕工事を行う。
②事務事業の概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	舗装整備工事を実施した。 整備工事(L=254m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	14	140	254	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	1,575	1,715	1,969	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	65.7	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	3,070	9,503	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			9,503	舗装整備工事			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	3,070	9,503				0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	私道舗装整備要綱を見直し、補修工事についても実施することになったことから、この制度を広く市民に周知すること。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	道路は市民生活に必要不可欠であることから、事業を進めていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	私道組合(舗装整備工事、舗装補修工事)	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	私道組合(舗装整備工事、舗装補修工事)	9,503	10,873	当初	11,240	9,503	R1からの繰越	0
				補正			現年分	9,503
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由								
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				0		

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。
②①に基づく取組み結果	事業主体である千葉県と連携を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図(対象をどうするのか)	整備することで交通の利便性を向上
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市の南北の交通円滑化と周辺地域の利便性の向上を図るため、県道船橋我孫子線のバイパスとして県が事業主体となり事業を施行する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	南初富区間から新鎌ヶ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	用地取得(A=60㎡)						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	65.7	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	7,053	6,281	金額(千円)	内容		10,731	
国支出金(千円)			6,281	市町村負担金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)	1,800	2,200				7,400	
一般財源(千円)	5,253	4,081				3,331	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	境界が未確定の箇所があり、確定させる必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	地元負担金	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	地元負担金支出	4,694	12,738	当初	1,000	6,281	R1からの繰越	3,511
				R1⇒R2繰越	3,694			
③達成状況	未完了			補正	8,044		現年分	2,770
④未完了・非着手の理由	事業主体である千葉県が繰越したため			令和3年度への繰越額(単位:千円)				4,050

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業推進のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	事業推進のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。
②①に基づく取組み結果	交付金を活用し、物件補償と用地取得を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線、都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	用地取得を行う。
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷地区の東西を連絡する都市計画道路を整備することにより、円滑に通過交通を誘導し、歩行者等の安全性を高める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	物件補償と用地取得(A=727㎡)を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	65.7	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	87,467	246,321	金額(千円)	内容		287,315	
国支出金(千円)	42,149	120,971	134,866	物件補償費		132,826	
県支出金(千円)	0	0	99,545	用地購入費		0	
市債その他(千円)	37,500	93,300	8,305	物件調査費		97,700	
一般財源(千円)	7,818	32,050	2,240	不動産鑑定費		56,789	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	当該都市計画道路は東西にアクセスする道路がないため、早期に事業を進めていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市内中心部の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性の向上を早急に図る必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	用地取得	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	用地取得、物件補償	100,000	380,755	当初	120,882	R1からの繰越	59,065
				R1⇒R2繰越	59,065		
③達成状況	未完了			補正	200,808	現年分	187,256
				流用・充当	0		
④未完了・非着手の理由	用地取得に係る業務が年度内に完了しなかったため。	令和3年度への繰越額(単位:千円)				132,919	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	永東 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の制定。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の検討。
②①に基づく取組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性、利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化される等、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	○道路補修・清掃委託 ○排水管(溝)清掃委託 ○道路維持工事					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	「道路の状況」満足度	14.7	—	—	市民意識調査
	ii	道路パトロール日数	128	129	123	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	132,275	115,765	金額(千円)	内容		110,844
国支出金(千円)	5,610	0	799	報償費		0
県支出金(千円)	0	0	53,651	委託料		0
市債その他(千円)	0	0	61,347	工事請負費		0
一般財源(千円)	126,665	115,765	0	負担金補助及び交付金		110,844

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事、道路施設の点検	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事、道路施設の点検	122,076	122,076	当初	122,076	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	115,765
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)					